

平成28年度 南区長マニフェスト

南区長 渡辺 稔

マニフェスト

現在の南区は人口減少と高齢化が急速に進行し、地域の最重要課題となっており、地域防災力の強化や超高齢社会への対応、子育て支援などとともに喫緊の課題である地方創生に向けた取り組みを実施します。

さらに、南区には、豊かな大地の恵みである「食と花」、長い歴史に培われた伝統文化や匠の卓越した技など、多くの「地域魅力」があることから、今まで培った地域力を活かした取り組みを推進することで、区ビジョンまちづくり計画に掲げた区の将来像『大地の恵みと伝統・文化にはぐくまれた郷土愛にあふれる、いきいきと暮らせるまち』の実現を目指します。

この方針のもと南区は今年度、以下の4つの取組を重点的に実施します。

1. ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまちづくりを推進します。
2. 誰もが快適に移動できる交通の利便性が高いまちづくりを推進します。
3. 農商工の連携が、新たな活力を生み出すまちづくりを推進します。
4. 大凧が舞い、獅子が跳ね、ル レクチエが実るまちづくりを推進します。

マニフェスト実現に向けた取り組み

1 ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまちを目指します。

現状 (課題)	<p>区民の防災意識は高く自主防災組織は市内でもトップクラスの結成率ですが、災害時に機能する自治会単位の要援護者支援や避難所運営など、地域の防災力向上に向けた活動の推進が必要となっています。</p> <p>超高齢社会を迎え、医療施設や介護施設の受け入れに限りがある中、在宅医療の支援体制について整備が求められています。また、子育て中の保護者の孤立化と育児不安・ストレスなどの問題が発生しています。さらに、障がい者の就労環境は厳しい状況であり、障がい者施設の健全運営のための課題も多くあります。</p>	
課題 解決策	目標	<p>平成34年度までに区ビジョンまちづくり計画に掲げた「安心して、快適に暮らすまちづくり」、「誰もが健康でいきいきと生活できるまちづくり」、「区民や地域が主役となるまちづくり」に向けた取り組みを進めます。</p>
	<p>災害発生時の実効力を高めるため、避難所運営マニュアルを見直し、防災意識を高めます。また、地域との連携がスムーズに機能することが重要であることから、区民と共に減災に向けたまちづくりを進めます。</p> <p>人口減少・超高齢社会への対策として、地域における高齢者の元気な暮らしを支えるための仕組みづくりや子育て支援を進めます。さらに、健康寿命延伸と医療費削減を目指し、特定健診受診率向上に向けて集団検診を実施します。</p> <p>障がい者施設が南区産農産物を使った商品開発に取り組むなど、障がい者の自立を支援します。</p>	
主な 取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合防災訓練の実施 ・ 子育て広場の開催 ・ 特定健診受診率の向上 ・ 高齢者を地域で支えるモデル事業 ・ 障がい者自立支援事業 	

	主な取組の指標達成状況	設定数	5	達成数	3
取組結果	<p>安心できる安全なまちづくりを進めるため、地震を想定した総合防災訓練を実施しました。参加者の範囲を広げ、区内の全コミ協のほか白根高校、社会福祉協議会、白根青年会議所、体育施設指定管理者などが避難所運営や情報伝達訓練等に携わりました。</p> <p>子育ての不安解消として、子育て広場を身近な場所で開催するなど拡充して支援に努めました。区民の健康寿命を延ばすため、ミニドック型集団健診を実施して受診率が向上しました。障がい者の自立支援として、南区産の野菜・果実をアグリパークを活用して加工し、みそ汁の具やドーナッツ、乾燥野菜などの製品化に結び付けました。</p> <p>高齢者社会への対応として、地域包括ケアシステムの構築に向けた勉強会を開催するとともに、新総合事業への移行を支援しました。</p>				
今後の方針	<p>次年度は、学校に協力を要請し、水害を想定した総合防災訓練を実施し地域の防災力向上を目指します。人口減少対策として、定住化を含めた空き家対策に取り組みます。障がい者の農作業体験などを行い、農業分野での就労支援に結び付けます。</p> <p>少子化対策・子育て支援として「子育てオーエンジャー☆みなみ」による子育て広場の充実を図ります。地域で高齢者を支える意識の醸成や体制作りを行います。</p>				

2 誰もが快適に移動できる交通の利便性が高いまちを目指します。			
現状(課題)	<p>区内に軌道系の公共交通機関がなく、主にバス運行が区民の重要な移動手段となっています。</p> <p>区バスや住民バスは、運行頻度やルートに対する改善要望があるものの、利用者はほぼ横ばいであり、効率的な交通システムの構築が困難な状況にあります。</p> <p>都市基盤となる幹線道路の適切な維持管理により、車両走行性の改善や歩行者の安全性向上、橋梁施設の長寿命化に努めています。</p>		
課題解決策	<table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>平成34年度までに区ビジョンまちづくり計画に掲げた「交通の利便性の高いまちづくり」に向けた取り組みを進めます。</td> </tr> </table> <p>区バスについては国道8号線を基軸とし、区内中心部や近隣地域へのアクセス機能や路線相互の乗換機能を高めます。また、昨年実施したアンケートを基に、燕三条方面及びJR各駅へのアクセスについて検討を行います。</p> <p>国道8号バイパス全線供用後の現国道8号の安心安全な空間とにぎわいの創出のため、区民の意見を反映し計画を作成します。</p> <p>早期の点検・補修により基幹道路と橋りょうの維持管理を実施し、さらなる長寿命化を進めます。</p>	目標	平成34年度までに区ビジョンまちづくり計画に掲げた「交通の利便性の高いまちづくり」に向けた取り組みを進めます。
目標	平成34年度までに区ビジョンまちづくり計画に掲げた「交通の利便性の高いまちづくり」に向けた取り組みを進めます。		
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・区バス運行事業 ・国道8号道路空間創出計画の策定 ・幹線道路と橋りょうの適切な維持管理 		

	主な取組の指標達成状況	設定数	3	達成数	3
取組結果	<p>区バスについては、利用者にとって使いやすい路線を検討し、地元説明を行いました。また、まちなか社会実験のぐるりん号については、ルート及び停車場の見直しを実施し、利用者が増加してきています。三条方面へのアクセス検討を関係者で情報共有を図るとともに、国道8号の4車線化に向けて検討会を開催し、バイパス完成後の対応として現8号を使ったイベントを開催し、集客効果や交通への影響などを検証しました。また、上半期の工事執行に努めました。</p>				
今後の方針	<p>区バスについては、地域の意向を踏まえながら利便性の高い路線へルート変更を検討します。ぐるりん号については、周知により利用者が増えてきているため継続します。国道8号についても4車線化に向けて今後も協議します。次年度においても、道路空間再編成事業を検討します。</p>				

3 農商工の連携が、新たな活力を生み出すまちを目指します。	
現状(課題)	<p>南区で盛んな果樹・切り花などの園芸や畜産の生産性を高めるために「食と花の銘産品」を指定し、市内外に広くPRを行っていますが、農業従事者の高齢化が進み、担い手が減少しているため、生産量は増加していない現状です。消費者と農業者の交流の場や農業体験の場を設定し、農産物「食と花」を大いにPRしていますが、来て見て買って食して楽しんでいただく取り組みや安心安全な農産物の生産とともに、農商工連携による食品の付加価値化を進める6次産業化の推進が求められています。</p> <p>また、店主の高齢化や後継者不足により廃業や空き店舗、更地が目立つなど、まちなかの活力が失われつつあることから、南区の商業の中心である白根地区商店街に元気を取り戻し地域商業の拠点として強化することが重要になります。伝統工芸品である白根仏壇・白根絞りに関しては、技術の継承が課題となっています。</p>
課題解決策	<p>目標 平成34年度までに区ビジョンまちづくり計画に掲げた「活力のある魅力的な農業を活かしたまちづくり」、「いきいきと働けるまちづくり」に向けた取り組みを進めます。</p> <p>担い手などへの農地集積と生産性向上を図るため「人・農地プラン」の作成と円滑な実行を支援します。廃棄処分されていた果樹の剪定枝をバイオマスとして活用を図るとともに、高品質な米を生産するため、たい肥散布の推奨を進めます。</p> <p>また、農業・商業・工業の連携による6次産業化・12次産業化への取り組みを支援し、農業活性化センターや食品加工支援センターを活用した地域ビジネスの展開や新たな雇用創出を図るとともに、空き店舗を活用したまちなか賑わいチャレンジ事業や伝統工芸品のプロモーションに取り組みます。</p>
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・「人・農地プラン」の事業支援 ・ビジネスプランコンテスト ・農商工連携がっちりプロジェクト ・南区資源循環事業 ・まちなか賑わいチャレンジ事業

	主な取組の指標達成状況	設定数	4	達成数	3
取組結果	<p>「人・農地プラン」を作成し、地域集積協力を活用して担い手などへの農地の集積を3地区で実施しました。環境型農業を確立するため、資源循環事業を実施したい肥散布を実施しました。6次産業化12次産業化を進めるため、農産物を使ったビジネスプランコンテストを実施し、事業化部門とアイデア部門に目標とした30点の応募がありました。また、農商工連携がっちりプロジェクトでは新規に桃やオオムギを使った4種類の商品を試作しました。商店街の空き店舗を活用した新規出店や交流スペース、チャレンジウィークで5店舗が出店しました。</p>				
今後の方針	<p>生産性向上のため資源循環事業と農地集積を推進します。また、ビジネスプランコンテストの優秀プランには、出店に向けた創業支援を行うとともに、アイデアプランの活用を行い、雇用の創出につなげます。</p> <p>伝統工芸である白根仏壇の技術をプロモーションし、新たな製品づくりを模索します。</p> <p>まちなかの活性化のため、空き店舗と白根の町屋の活用を検討します。</p>				

4 大風が舞い、獅子が跳ね、ル レクチエが実るまちを目指します。	
現状（課題）	<p>歴史と伝統を誇る白根大風合戦、重要文化財旧笹川家住宅（笹川邸）、白根の町屋などの観光資源、財産を有機的に結合し、南区の魅力をさらに磨きあげ、交流人口の増大につなげるとともに、多彩な地域の宝ものを大切に受け継ぎ、保存を図る必要があります。</p>
課題解決策	<p>目標</p> <p>平成34年度までに区ビジョンまちづくり計画に掲げた「にぎわいと多彩な交流のまちづくり」に向けた取り組みを進めます。</p>
	<p>白根大風合戦、旧笹川家住宅（笹川邸）、角兵衛獅子、その他地域固有の文化施設や伝統行事に、南区に優位性のある「農・食」を組み合わせた事業を展開するとともに、南区PR大使やSNSなどを効果的に活用し、交流人口の拡大につなげます。</p> <p>また、地域固有の文化施設や伝統行事などの魅力を向上させるとともに、保存と活用を図り次世代へ継承します。</p>
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・区公式ツイッターの運営 ・白根大風タウンガイドとの協働 ・南区観光協会への支援 ・南区PR大使の活用 ・旧笹川家住宅保存活用計画の策定

	主な取組の指標達成状況	設定数	4	達成数	1
取組結果	<p>区公式ツイッターは、日々の配信により大幅なフォロワーを得ました。白根大風タウンガイドによる商店街のまち歩きを開催しました。NGT48 のメンバーで南区に関係のある2名をPR大使に任命し、区のイメージアップと情報発信に努めました。</p> <p>また、貴重な文化財である旧笹川家住宅の適切な保存・管理を行い、価値・魅力を発信するとともに、歴史文化に根ざした地域づくりを進めるために活用し、良好な状態で構成に引き継いでいくため「旧笹川家住宅保存活用計画」を策定しました。</p>				
今後の方針	<p>区の情報発信として、ホームページやツイッターのアクセス数などを分析し、魅力のPRを図り、南区PR大使の効果的な活用に努めます。また、旧笹川家住宅の有効活用に向けて「来てきて笹川邸」を継続実施するとともに、南区の観光施設の連携により誘客を図ります。</p>				

平成28年度 南区長マニフェストに掲げた取組の指標一覧表

1 ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまちを目指します。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況等	評価		
				項目(単位)	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標				H28結果	
1	総務課	地域住民との協働で、安心できる安全なまちづくりを進めます。	・南区総合防災訓練の実施 ・中学校防災教室の実施 ・高校生災害ボランティアの育成 ・避難所運営マニュアルの検討	総合防災訓練訓練参加者数(人)	-	-	1,148	1,000	1,243	・南区総合防災訓練に区内12のコミュニティから参加してもらい、避難所運営マニュアルに基づいた訓練または要援護者の安否確認を実施 ・各コミュニティでの自主防災訓練での市推奨訓練の実施	・11月6日に区内12コミュニティのほか、白根高校、社協、白根青年会議所、日赤奉仕団、体育施設指定管理者等から1,243名が参加し、南区総合防災訓練を実施しました。 ・南区総合防災訓練時の訓練を含めて、各コミュニティ単位で市推奨訓練を実施しました。	達成	
2	健康福祉課	子育て中の保護者を応援し、子育ての不安解消を図ります。	・子育て広場の開催 ・子育て広場交流会の開催 ・NPプログラムの開催 ・アウトリーチ支援(地域情報のお届け訪問)モデル実施	子育て支援リーダーによる子育て広場の参加者数(人)	203	495	716	750	721	・特色ある区づくり事業「地域で子育てを応援」による子育て広場を身近な地域で開催	・前年度よりも開催回数・参加者数とも上回りましたが、目標とした参加者数には若干届きませんでした。引き続き、子育て支援リーダーの確保とスキルアップを図り、地域が「自主的に子育て支援に取り組めるような環境整備を進めます。	概ね達成	
3	健康福祉課	区民の健康づくりへの関心を高め、関係機関と協働した健康づくり対策を強化し、健診受診者を増加させます。	・ミニドック型集団健診の実施(イオン白根店での健診実施) ・健診受診申込・PR等のコミュニティへの委託	特定健診受診率(%)	31.15	31.39	32.70	45	34.85 (3月末見込)	・各関係機関と連携し受診PRを実施しましたが、特定健診の受診率は微増にとどまる見込みです。 ・今後、受診率を高めるため、健診会場を追加するほか、コミュニティ協議会・保健会と連携して継続的な取組のPRに取り組めます。	・各関係機関と連携し受診PRを実施しましたが、特定健診の受診率は微増にとどまる見込みです。 ・今後、受診率を高めるため、健診会場を追加するほか、コミュニティ協議会・保健会と連携して継続的な取組のPRに取り組めます。	未達成	
4	健康福祉課	地域包括ケアシステム構築に向けた取り組みを推進します。	・協議体第2層勉強会 ・高齢者を地域で支えるモデル事業の支援 ・みなふくわと(介護サービス事業所)及び居宅連絡会向け研修会	開催数(回)	-	-	-	1	6	3圏域	・互助による助け合いのしくみづくりの必要性と、それぞれの役割の理解が深まる研修会を行うことで、自主的な勉強会の開催にも繋がりました。 ・高齢者を地域で支えるモデル事業(大通コミュニティ「思いやりネット」)は、新総合事業の住民主体の訪問サービスに移行します。	・互助による助け合いのしくみづくりの必要性と、それぞれの役割の理解が深まる研修会を行うことで、自主的な勉強会の開催にも繋がりました。 ・高齢者を地域で支えるモデル事業(大通コミュニティ「思いやりネット」)は、新総合事業の住民主体の訪問サービスに移行します。	達成
5	健康福祉課	障がい者(施設)が、自立促進のためアグリパークを活用し、地元で収穫された野菜・果樹などを乾燥野菜やジャムなどに加工・製品化する取り組みを支援します。	・障がい者自立促進支援事業の実施(食品加工研修の実施、農家・販売所との連携)	商品の開発数(品)	-	-	-	2	3	支援による商品数	・2つの障がい者施設で、地元産の野菜や果樹を使用し3つの加工品を完成させました。 ・今後、加工品の販売に向け、販路の確保や効果的なPR方法などを検討し、障がい者の自立促進に向けて支援します。	・2つの障がい者施設で、地元産の野菜や果樹を使用し3つの加工品を完成させました。 ・今後、加工品の販売に向け、販路の確保や効果的なPR方法などを検討し、障がい者の自立促進に向けて支援します。	達成

2 誰もが快適に移動できる交通の利便性が高いまちを目指します。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況等	評価		
				項目(単位)	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標				H28結果	
6	地域課	区内の生活交通を維持するとともに、より利便性を高めます。	・区バス運行事業 ・住民バス補助	区バス利用者数 乗合タクシー利用者数 利用者計(人)	24,285 1,763 計26,048	24,245 2,487 計26,732	24,150 2,218 計26,368	25,000 2,000 計27,000	26,452 2,170 計28,622	・区バス利用者数は昨年度より増加し、乗合タクシー利用者数も増加しました。 ・乗合タクシーの運行状況や、三条方面及びJR各駅へのアクセス検討	・区民のバス利用傾向の分析を基に、区民の目的地となっている地点を確保するバスの運行を積極的に進め、利用者が増加しました。 ・併せて、出前講座や「マイ時刻表」等の取り組みにより既存バスの利用促進を図りました。	達成	
7	建設課	国道8号バイパス供用後の国道8号現道市道移管後の新たな道路空間創出への再編をめざします。さらに国道8号北部地域の渋滞解消のための検討会を開催します。	・安心・安全な生活道路空間と、地域の賑わいを活性化を支援する道路空間創出のため、地元住民や関係団体等の意見の反映(会議) ・渋滞解消のための国、警察、地域との検討会の実施	地元住民や関係団体等の会議開催(回)	-	-	-	3	3	3	・地域住民や地元関係団体等との会議を開催して意見を聴き、国の協議を進め、道路空間創出に反映させます。 ・渋滞解消のため住民参加の検討会	・3月26日に「国道8号まちづくり推進協議会」を実施し、臨時バス、シャトルバスによるバス交通の検証や、通行止め等による周辺道路・住宅・店舗等の影響、南区の魅力発信の調査などを行い、道路空間利用の可能性を探りました。 ・「南区北部地域の安全・安心で便利な道路を創出する会」を設立し、地域住民及び関係団体等による説明会(検討会)を開催し、検討会開催後は、内容についてお知らせを作成して周知を図りました。 ・関係機関との協議を早急に完了させ、上半期の工事発注率は87%となりました。	達成
8	建設課	道路・橋りょうの計画的な整備・維持補修を行い、住みよいまちづくりに努めます。	・定期的な工事の執行管理の実施 ・発注計画の確認と点検の実施	上半期(4~9月)の工事発注率(%)	79	57	77	75%以上	87	・上半期の工事予算ベースの発注率	・関係機関との協議を早急に完了させ、上半期の工事発注率は87%となりました。	達成	

3 農商工の連携が、新たな活力を生み出すまちを目指します。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況等	評価	
				項目(単位)	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標				H28結果
9	産業振興課	「人・農地プラン」を作成し、担い手などへの農地集積を進め、生産性の向上を図ります。	・「人・農地プラン」作成の推進 ・農地中間管理事業	地域集積協力金の活用(件数)	-	-	3	4	3	・地域集積協力金等の交付	・地域集積協力金の活用について4件を目標としていましたが、3地区での実施にとどまり目標を達成することはできませんでした。	未達成
10	産業振興課	農業・商業・工業の連携により農業の6次産業化・12次産業化を推進し、地域産業の活性化や雇用の創出を図ります。併せて、「新潟県産品PR」及び「農産物の技術PR」、伝統工芸の継承を推進します。	・農商工連携がっちりプロジェクト ・専任栽培支援プロジェクト ・南区健康オムニバスプロジェクト ・南区ビジネスプランコンテスト ・白根産地PRプロジェクト	新規商品の試作(品)	-	-	-	3	4	・農協、商工会、企業、農業者、行政などが、一体となって推進 ・農業活性化研究センター、食品加工支援センターとの連携 ・応募数は、事業化部門とアイデア部門の合算とする。	・未利用品の一次加工では、桃のペースト商品2品(マドレーズ、ゼリー)と大葉商品2品(パン、シフォンケーキ)の新規4品目を商品化に成功し、目標を達成することができました。 ・南区の農産物を使ったビジネスプランコンテストを実施した結果、事業化部門13プラン、アイデア部門17プランの応募があり、目標を達成することができました。 ・今後は、優秀ビジネスプランの実現に向けた支援に努めます。	達成
11	産業振興課	消費者に安心・安全な農産物を届けるために、環境保全型農業を推進します。	・資源循環事業 ・環境保全型農業直接支払交付金事業 ・多面的機能支払交付金事業	たい肥施用水田面積(%)	60	87	97	110	112	・環境保全型農業直接支払交付金の対象面積のうち、たい肥施用水田面積とする。 ・南区水田面積:5,639.2(土地改良区賦課面積)	・消費者に安心安全で食味なお米の提供と農地の環境保全のため、たい肥施用の実施を目標としており達成することができました。 ・水田貯留機能の増進を図るため、田んぼダム実施を目標としており達成することができました。	達成
12	産業振興課	商店街の元気とまちなかの活性化を目指します。	・南区拠点商業地活性化推進事業計画の実施 ・まちなか賑わいチャレンジ事業	拠点商業地内の空き店舗を利用した新規出店等や交流スペースの整備(か所)	-	-	6	2	5	・南区拠点商業地活性化推進事業計画を策定し、商店街の空き店舗活用を促進した結果、新規2店舗とまちなか賑わいチャレンジ事業による3店舗が出店し、目標を上回るすることができました。	・南区拠点商業地活性化推進事業計画を策定し、商店街の空き店舗活用を促進した結果、新規2店舗とまちなか賑わいチャレンジ事業による3店舗が出店し、目標を上回るすることができました。	達成

4 大風が舞い、獅子が跳ね、ルレクテが突るまちを目指します。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況等	評価	
				項目(単位)	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標				H28結果
13	地域課	区の持つ広報媒体をフルに活用し、区政情報や、区の魅力などを効果的に発信していきます。	・区役所より発行事業 ・区のホームページの運営 ・区公式PRツイターの運営 ・市政情報モニターの運営	区のホームページアクセス数 月平均(件)	26,089	26,504	31,788	33,000	32,769	・区内の旬な情報を取材し、PRツイターなどを利用して、週に1回以上、区の情報を発信する。	・PRツイターによる情報発信は、週1回以上の更新やPR大使を活用した情報提供に努めたことから、目標を達成することができました。 ・今年度も引き続き、PR大使の活用及び効果的な情報提供に努め、区の魅力を広く発信します。	概ね達成
14	産業振興課	商店街の元気とまちなかの活性化を目指します。	・みなみらいプロジェクトとの協働 ・しろね大風タウンガイド等との協働	商店街を中心としたまちあるきの開催回数(回)	-	-	4	10	11	・しろね大風タウンガイド数11名(H28)	・ボランティアガイド養成講座の実施、及び、しろね大風タウンガイド等との連携により、商店街を中心としたまち歩きを11回開催し、目標を達成することができました。	達成
15	産業振興課	南区の農産物や観光資源を活用し、観光イメージの定着を図りながら交流人口の拡大を目指します。	・南区観光協会への支援 ・白根大風と歴史の館(指定管理者)による自主事業 ・南区PR大使の活用	南区観光協会ホームページアクセス数(件)	-	-	291,915	300,000	297,729	・NGT48メンバー2名が「南区PR大使」に任命された効果もあり、Facebookフォロワー数は、目標を達成することができましたが、南区観光協会のホームページアクセス件数については、前年より約29%増加したものの目標には届きませんでした。	・NGT48メンバー2名が「南区PR大使」に任命された効果もあり、Facebookフォロワー数は、目標を達成することができましたが、南区観光協会のホームページアクセス件数については、前年より約29%増加したものの目標には届きませんでした。	概ね達成
16	地域課	重要文化財笹川家住宅(菅川邸)の保存・活用の向上に努めます。	・文化庁の指針に基づく「重要文化財(建造物)保存活用計画」の策定 ・「来てきて菅川邸」など、魅力をPRするイベントの実施	入館者数(人)	5,232	5,732	6,944	7,000	5,859	・旧菅川家住宅保存活用計画は策定検討委員会や味方地区を対象とした説明会等の開催を通じ、多様な意見を聴き取り、可能な範囲で計画に盛り込むことができました。 ・入館者数については「南区プレミアムチケット」やイベントの実施による集客が伸び、目標を達成することはできていませんでしたが、今後は、活用計画を踏まえた整備に取り組み、来館者数の増加につなげます。	・旧菅川家住宅保存活用計画は策定検討委員会や味方地区を対象とした説明会等の開催を通じ、多様な意見を聴き取り、可能な範囲で計画に盛り込むことができました。 ・入館者数については「南区プレミアムチケット」やイベントの実施による集客が伸び、目標を達成することはできていませんでしたが、今後は、活用計画を踏まえた整備に取り組み、来館者数の増加につなげます。	未達成